

サーキュラー エコノミーを創る

東京大学先端科学技術
研究センター研究顧問

小林 光 8

■八ヶ岳でVPPを H(ゼロ・エネルギー

■筆者略歴 ■工学博士。環境省で環境管理局長、地球環境局長、事務次官を歴任。以降、慶應義塾大学大学院や米国ノースセントラル・カリフォルニアなどで教鞭を執る。2016年から東京大学(駒場)客員教授(〜現在)。2020年4月から現職。著書に『グリーンビジネス』『エコなお家が横につながる』等。

音頭を取って、市民や漁協やトヨタなどの企業も参加する菱刈りの活動が始められた。3度ほど参加してみたが、船を出すと、確かに、水面の相当範囲が菱などに覆われていて、そうした場合、菱の幹をつかんで、根ごと抜き取る作業をする。水草が盛んに育つ夏、秋には、平日は県の菱刈船、土日は、ヨットクラブなどが船頭

さらに感心するのは、活動が始められた。3度ほど参加してみたが、船を出すと、確かに、水面の相当範囲が菱などに覆われていて、そうした場合、菱の幹をつかんで、根ごと抜き取る作業をする。水草が盛んに育つ夏、秋には、平日は県の菱刈船、土日は、ヨットクラブなどが船頭

2021年の暮れ、東京都から住民票を長野県茅野市の八ヶ岳麓、標高1020mの所へと移した。エコハウスの実践の病が昂

2021年の暮れ、東京都から住民票を長野県茅野市の八ヶ岳麓、標高1020mの所へと移した。エコハウスの実践の病が昂

利用である。かつての諏訪湖は、周辺の工場からの排水に、流域18万人分の家

茅野市には、9の3V小水力発電所がある。その級と200級級だが、不幸にして、創業社長さんが急逝してしまっただけで、初期投資を免れるPPA方式での、地産再生可能エネルギーの活用が検討さ

八ヶ岳地産地消物語

我が金山デッキでの発電と近隣の電力利用の構想だけではない。自然豊かな八ヶ岳地域には、以上のほかにも、温泉、バイオマ

新築以来今まで、43%程度の時間を現地で過ごす間に(40数%が東京の羽根木エコハウ

新築以来今まで、43%程度の時間を現地で過ごす間に(40数%が東京の羽根木エコハウ

庭系の有機排水も加わりひどく汚染されていたが、下水道などが行

我が金山デッキでの発電と近隣の電力利用の構想だけではない。自然豊かな八ヶ岳地域には、以上のほかにも、温泉、バイオマ

32.発電能力8.8kw、蓄電池容量23kWh、相当の真正正銘のZEV

32.発電能力8.8kw、蓄電池容量23kWh、相当の真正正銘のZEV

富栄養化対策にも役立つ。底の溶存酸素の保持や

富栄養化対策にも役立つ。底の溶存酸素の保持や